

東京2020大会に向けた西東京市の取組方針策定

～「健康」応援都市の実現を目指して！～

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（資料中「東京2020大会」という。）の機運醸成を図るため、西東京市における取組方針を本年10月に策定しました。

方針には4つの柱を掲げ、積極的な情報発信とともに、スポーツに親しめる場や機会をつくるなど、市民の皆様と一緒に東京2020大会を迎える取り組みを展開いたします。

方針に基づく、スポーツ環境等を支える人材や共生社会の実現に向けた取り組みを着実に進めることで、西東京市の目指すまちづくりの方向性である、「健康」応援都市の実現へとつなげてまいります。

1 取組方針の柱

- (1) 東京2020大会の機運醸成
- (2) 誰もが参加できる環境の創出
- (3) 文化等地域資源の市内外への発信と地域振興
- (4) 子どもの教育と多様な価値観を尊重する共生社会づくり

2 東京2020大会に向けた取り組み

(1) オランダ連携プロジェクト来日プログラム

「Game Changer の活躍を目指して」

Game Changerとは、社会の枠組みや考え方、流れを変える人々のことで、西東京市では、地域でのパラスポーツの普及や障害者と健常者の交流のパイプ役として、市民の皆様等の活動を支援していきます。

今回は、オランダ流のGame Changerの活動を学び、西東京市版Game Changerが活躍していくことを目指します。

- ①日時等： 11月27日（火） 9：00～13：00（向台小学校）
13：30～18：00（西原総合教育施設）

②内 容：

- ・リオパラリンピック金メダリストによる特別授業
（競技生活やスポーツの役割など）
- ・コーフボールの体験
- ・オランダにおける障害者との向き合い方ワークショップ

③訪問予定者

アライダ・ノルブラウス選手

プロパラリンピック自転車選手。

- ・ロンドンパラリンピック銀メダル
(500メートルタイムトライアル (トラック))
- ・リオパラリンピック金メダル
(500メートルタイムトライアル (トラック))
(タイムトライアル (ロード))
- ・リオパラリンピック銅メダル
(3キロメートルパシュート (トライアル))

リタ・ファン・ドリエル氏

小学校教員。ローラースキーやクロスカントリースキーのナショナルチームでのアスリート経験、各種ナショナルコーチ等の経歴を経て、現在は、次の要職を務める。

- ・オランダパラリンピック委員会事務局長
- ・国際パラリンピック委員会理事・開発委員会委員長
- ・国際オリンピック委員会大会調整委員会メンバー
- ・NOC*NSF 障害者スポーツプログラムマネージャー

マヨライン・デ・ブーア氏

障害者の体育教育・身体活動、特別支援を必要とする子どもへの教育に関する豊富な知識と経験を有する。

オランダ、シンガポール、オーストラリアでのコンサルタント、教員、講師などの職も経験している。



【問い合わせ先】生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 (TEL : 042-438-4081)

資料のポイント＜オランダ連携プロジェクト＞

昨年に続き、リオオリンピック金メダリストと交流できる大変貴重な機会です。

参加者の中でも、特に子どもたちにとっては、世界で活躍するアスリートとの直接交流は、普段にはない大きな刺激や経験になると考えます。

また、誰でも・どこでも・いつでも楽しめるニュースポーツ「コーフボール」の体験や、「ワークショップ」等、本プロジェクトをとおして、人々の多様性への理解につながる機会づくりを推進します。